

【第二回 蒲田西プラットフォーム開催内容】

- ◆開催日：1月31日（金）17時～18時30分
- ◆場所：蒲田西特別出張所 大会議室
- ◆参加者：50名

地域関係者、介護事業者、障害者福祉事業者、東京工科大学、シニアクラブ、民生委員児童委員、青少対、東急、(株)JCOM、民間企業等。

◆話し合いの内容：

- ・グループワーク形式（8グループ）の話し合い。
- ・第一回の話し合いから、この地域で気になることや自らの活動で抱えている悩み・課題からテーマを各グループごとで選択し、深掘りする作業を行いました。



【選択テーマ】

- ① 地域活動を始めると、場所等どこからアプローチしたらいいか、分からない。
- ② 様々な活動が行われているが、その情報が必要な人に届かない。
- ③ 日中一人暮らしの高齢者が増えているように感じる。
- ④ 町会自治会の活動者の高齢化が進んでいると感じる。
- ⑤ 世代間がつながる機会、交流できる場が少ない。

【話し合いのポイント】

- ① 選んだテーマが、なぜそう感じるのか、各自、各団体で思い当たるところを、話してみましょう。
- ② 選んだテーマを、解決していくには、各自、各団体だったら、こんなことができるとか、解決のアイデアを話してみましょう。

【各グループでの意見】

- ① なぜそう感じるか？
 - ・交流することが、どの世代も負担と感じる場面が多いのではないかと。生活の中で自動化が進んでいるように人と関わらなくても生きていける社会を作ってきたのも原因か。
- ② 各自、各団体どんなことができるか
 - ・多世代が交流できるようなイベントの開催。学生が講師となる場、逆に高齢者から若者が受ける講座を行う。
 - ・情報が届くため、会報の発行やSNSの利用。
 - ・気軽に行かれる居場所と、そこまで連れ出してくれる人が必要。
 - ・自治会長会の茶話会で、学生のサークル活動の発表をしてもらう。
 - ・いろいろな人が楽しめる食事も含むイベント。

◆アンケート結果：参加満足度：87%

主な参加者の声：

- ・地域課題を抽出する上で適した手法だと思いました。（世代、職種等がバラバラだったのがとても良い）あとは出たアイデアをどう活かすかですね。
- ・これまで関わりの少なかった方からたくさん話を聞いた。これまでつながらなかった団体同士が繋がれる予感がありました！

【第二回 話し合い風景】

